

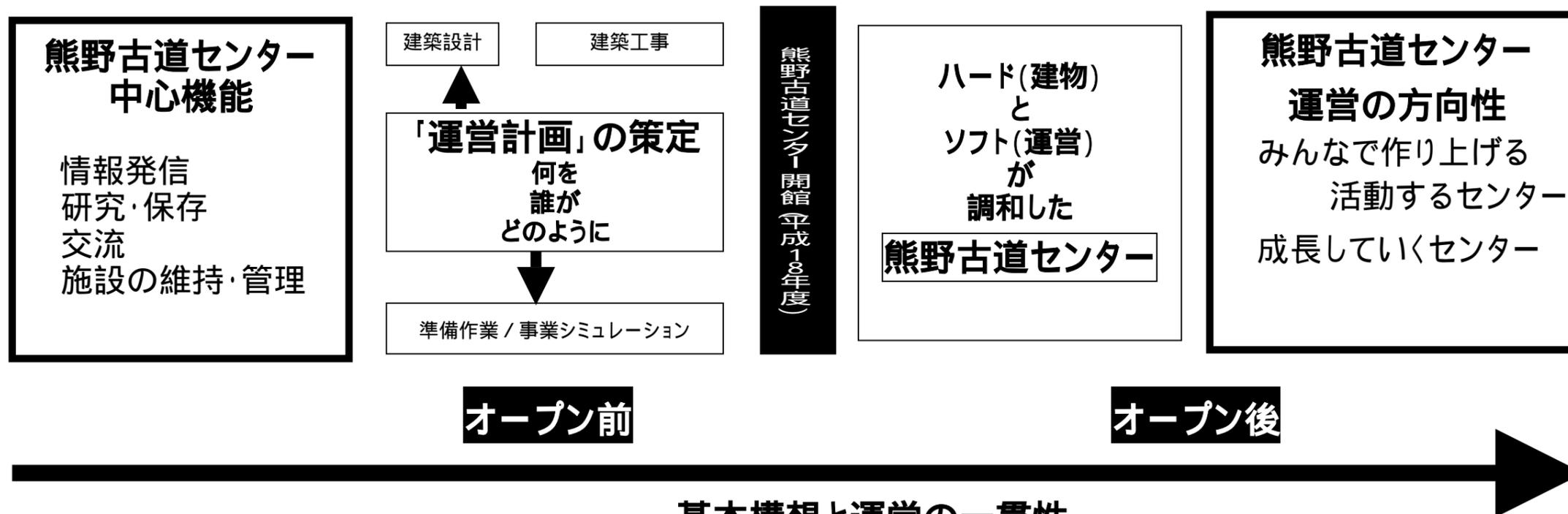
運営計画

運営計画の策定

誰が・何を・どのように実現するか計画であり、センターオープン後の運営を念頭において、オープン前2年間に体系化を進める。

運営計画を策定するうえで、次のことを考慮する。

- 建築設計への反映      何をどのように運営するのかを明確にし施設設計へ反映させる
- 担い手                      誰が運営の主体となるのかをできるかぎり明確にし、主体者中心にした運営計画をつくる



設計段階から「担い手」(地元住民・関係者・来訪者)の考えを反映

基本的な考え方

住民・関係者との協働による事業運営

中心機能の各分野において、住民や事業関係者との協働による積極的な事業運営を行う。

- ・語り部
- ・保存会
- ・観光関連事業者 など

来訪者と地域(地元住民)との積極的な交流

古道ウォークはもちろん、センター内での事業においても来訪者と地元住民との交流を図る。

- ・地元諸団体
- ・研究保存の専門家(委員会の発足と運営) など

できるだけ効率的な施設運営

事業運営や施設管理において自然の資源や豊かな発想などを通じ、効率的な運営を築く。